

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合							
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2						
23ULAR2002	景観建築英語Ⅳ	2	国際的に活躍できる建築・景観設計技術者として必要な、英語で自由にコミュニケーションを行うことができる基礎的能力を習得するために、建築・景観設計にかかわる基本的な語彙を増やすとともに、読む・聞く・話す・書くといった4技能をバランスよく学習することを目的とする。	英語を自由に読み、書き、聞き、話すことができる基礎的能力を向上させるとともに、建築・景観設計にかかわる基本的な語彙を身につける。これにより、英語を使って自らの主張を提案し、合意を形成するために必要な基礎的能力をより向上させる。	◎														
23ULAR1005	景観建築数学	1	解析学、線形代数学、確率・統計学の初歩を、景観建築学の諸分野への応用を前提に学ぶ。これを通して、景観建築にかかわる人間生活や社会、自然における諸現象を数量的に理解し、記述する手法を理解することを目的とする。	景観建築を学ぶ上で重要な数学の基礎を習得し、向上させるとともに、景観建築学における様々な問題解決に活用するための基礎的能力を培う。	◎														
23ULAR1006	景観建築物理	1	力学を中心に、振動、光、熱も含めて、景観建築の安全性や快適性に影響する自然現象の普遍的な法則を学ぶ。これを通して、景観建築を取り巻く自然現象を数量的に理解し、記述する手法を理解することを目的とする。	景観建築を学ぶ上で重要な物理学の基礎を習得し、向上させるとともに、景観建築学における様々な問題解決に活用するための基礎的能力を培う。	◎														
23ULAR1008	生態学	1	個々の生物種に関する知識や、地球生態系における生物の生活と環境との密接なかかわりを通して、生態学の基礎を理解することを目的とする。	「種」の多様な生活様式や種間の関係のありかたを理解するとともに、個体群・生物群集、生物多様性、生態系機能について学ぶことによって、生物や自然に関する基礎的知識を習得する。	◎						○								
23ULAR1201	表現基礎演習	1	様々な芸術家と協働した造形演習を通して、空間構成の基礎的能力と豊かな感性を培うことを目的とする。	主に「美」の視点から、真に人間的な住環境を創生するために必要な基礎的表現能力と豊かな感性を培う。							◎							○	
23ULAR1212	設計基礎演習	1	空間の基礎的な概念と、日本の伝統的な自然観と空間構成を理解し、それを踏まえた建築・景観設計を学ぶことを目的とする。そのため、小規模な建築と庭園を一体的に設計する演習を行う。	空間と自然観に対する基礎的理解に根ざした、小規模な建築・景観設計の演習を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、真に人間的でかつ自然環境と共生した住環境を創生する基礎的能力を培う。	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○					
23ULAR2211	景観建築設計演習Ⅰ	2	日本および西洋の建築、庭園の歴史や特徴を理解し、それを踏まえた建築・景観設計を学ぶことを目的とする。そのため、住宅と庭、小ホテルと西洋式庭園をそれぞれ一体的に設計する演習を行う。	歴史・文化に対する基礎的理解に根ざした小規模な建築・景観設計の演習を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、真に人間的でかつ自然環境と共生した住環境を創生する基礎的能力を培う。	◎	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎					
23ULAR2212	景観建築設計演習Ⅱ	2	日本の山水風景の特徴、および住まいとコミュニティの関係を理解し、それを踏まえた建築・景観設計を学ぶことを目的とする。そのため、渓流沿いの建築と庭園を設計する演習と、コミュニティの形成を促す集合住宅とその中庭、公園を設計する演習を行う。	風景や家族、集団に対する理解に根ざした建築・景観設計の演習を通して、「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、真に人間的でかつ自然環境と共生した住環境を創生する基礎的能力をより向上させる。	◎	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅 な 徳 性	D. 高い知性、 善美な情操、高 雅な徳性の総合						
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2					
23ULAR2202	景観映像情報演習Ⅱ	2	「景観建築設計演習Ⅱ」と連携し、より効果的な景観シミュレーションを学ぶ。またGIS(地理情報システム)を「景観建築設計演習Ⅱ」の設計課題に応用する演習も行う。	建築・景観設計を学ぶ上で重要な、より高度な映像情報技術とその活用方法を身につけ、建築・景観設計における問題解決や提案に活用できる基礎的能力を培う。	◎													
23ULAR4212	卒業研究	4	3年半で修得した「真」「善」「美」の総合として、各自がテーマを設定し、それに基づく研究を進め、その成果を卒業論文、卒業設計として総合化してプレゼンテーションする。これにより、大学院においてより高度な職能を身につけるために、あるいは建築・景観設計技術者として自律的に行動し、活躍するために必要な基礎的能力を確立することを目的とする。	「真」「善」「美」を互いに総合する能力を養い、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を習得する。また真に人間的な住環境形成のために、継続的に学習できる能力を習得し、自律的活動ができる職能人としての素養を十分に理解する。	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○					
23ULAR1321	日本建築史	1	日本建築の歴史と、伝統的な様式、空間構成、構造、意匠、材料などを学ぶとともに、その歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、日本の文化を考察し、新たな文化を創生する能力を育むことを目的とする。	日本建築の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。							◎							
23ULAR2321	世界建築史	2	西洋建築を中心に、その歴史と空間構成、その背景にある建築思想を学ぶとともに、その歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、地域の文化を考察し、新たな文化を創生する能力を育むことを目的とする。	西洋を中心とした世界の建築の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。							◎							
23ULAR2322	近代建築史	2	欧米と日本を中心に、近代建築の誕生とその歴史、代表的な建築家やその制作、思惟を学ぶとともに、近代建築がもつ歴史的、美的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、近現代の建築を考察し、新たな建築を創生する能力を育むことを目的とする。	近代における国内外の建築の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解することにより、地域の伝統的文化を創生できる基礎的能力を培う。							◎							
23ULAR2323	建築計画	2	主に機能性や防災安全性、文化、地球環境問題の観点から、建築の設計や計画に関わる基礎知識の習得を目的とする。そのため人間行動と建築計画の基礎的關係について、人文・社会科学や数理科学も活用しながら具体的に学ぶ。	人間の行動特性と建築の設計、計画との基礎的關係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「用」その他の視点から、人間行動にとって最適な空間を構成する基礎的能力を培う。		○	◎			○								
23ULAR2332	建築環境工学Ⅰ	2	建築環境工学における光環境、日射環境、空気環境等の基本事項を学ぶ。また、建築設計における光環境、日射環境、空気環境等にかかわる基本的課題を、空間構成によって解決する能力を身につけることを目的とする。	建築の機能性や快適性と、光環境、日射環境、空気環境等の関係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する基礎的能力を培う。				◎		○	○							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合				
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2			
23ULAR3332	建築環境工学Ⅱ	3	建築環境工学における音環境、熱環境、湿気環境等の基本事項を学ぶ。また、建築設計における音環境、熱環境、湿気環境等にかかわる基本的課題を、空間構成によって解決する能力を身につけることを目的とする。	建築の機能性や快適性と、音環境、熱環境、湿気環境等の関係を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する基礎的能力を培う。				◎			○	○				
23ULAR4341	建築設備	4	建築設備や音環境の基礎事項を学ぶ。具体的には、空調設備、衛生設備、電気設備等の設備システムの基礎や、設備設計にかかわる技術者倫理、および騒音防止計画、音響設計の基礎を習得し、これらの理解を踏まえた建築設計ができるようになることを目的とする。	建築の機能性、快適性を確保するために重要な、建築設備、音響設計、および技術者倫理の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、地球環境問題に配慮しつつ、最適な空間を構成する基礎的能力を培う。				◎			○	○				
23ULAR2351	構造力学Ⅰ	2	構造物の安全性を確保する上で重要な、静定構造力学の基礎を学ぶ。具体的には、力とモーメントの釣合いの理解を踏まえ、様々な荷重によって静定構造物にどのような力が働くかを理解することを目的とする。	構造物の安全性を確保するために重要な、静定構造力学の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎										
23ULAR2352	構造力学Ⅱ	2	構造物の安全性を確保する上で重要な、不静定構造力学等の基礎を学ぶ。具体的には、構造材料や部材断面の力学的性質を理解した上で、様々な荷重によって不静定構造物にどのような力が働き、どのような挙動をするのかを理解することを目的とする。	構造物の安全性を確保するために重要な、不静定構造力学の基礎を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎										
23ULAR1362	建築一般構造Ⅰ	1	建物に作用する様々な荷重や、建築をかたちづくる一般的な構法の概要等、建築一般構造の基礎知識について学習し、建築構法と構造的な安全性の関係を学ぶ。また屋根、壁、床、階段等多くの建築物に共通の構法や和室の造作等を学び、建築構法と技術、歴史、文化の関係も理解することを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、建築一般構造の基礎を理解する。また建築構法と技術との関係や、これらがもつ歴史的、文化的価値を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎					○	○				
23ULAR3361	建築一般構造Ⅱ	3	建築物の構造システムがもつ一般的な力学的特性を学び、構造安全性を確保する上での構法の重要性を理解する。また建築設計において重要な収まりについて、その安全性、施工性、保守性、意匠性も含めて学ぶことを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造部材、非構造部材の構法の基礎を理解する。またこれらの構法がもつ歴史的、文化的価値も理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎					○					
23ULAR3371	建設材料	3	構造物を構成する建設材料の組成、製造法、材料特性、力学的特性、およびそれらの特性を活かした基本的な部材設計についての考え方を理解することを目的とする。建設材料としては、最も一般的に使用されている木材・木質材料、コンクリート、鋼を対象とする。	構造物の安全性を確保するために重要な、構造材料の基礎と技術者倫理を理解する。理解した基礎的知識を踏まえて、主に「強」の視点から、空間を構成する基礎的能力を培う。		◎						○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合							
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2						
23ULAR3381	建築生産	3	企画から維持保全に至る建築生産のプロセス全体の基礎的事項と、各プロセスにおいて設計者、施工者が果たすべき役割を学ぶ。また、各プロセスにおいて技術者に求められる倫理観や幅広い視野、マネジメントへの認識と公正な判断力を養うことを目的とする。	コスト、スケジュールなど、建築生産プロセスにおける様々な制約条件を理解するとともに、様々な専門家、技術者との共同の重要性を理解する。また自律的活動ができる職能人として、適切な設計・施工計画を進めることができる基礎的能力を培う。											◎				
23ULAR3382	建築施工	3	契約・積算から施工計画の立案、土工事から躯体、仕上げ、設備工事、アフターケアに至る一連のフローの中で、施工管理者の役割や、建築施工に関する基礎知識を学ぶ。また企画・設計と施工の関連、および施工後の建物の維持管理に亘る幅広い知識の学習も目的とする。	品質、コスト、スケジュール、安全など、建築の施工における様々な制約条件と管理について理解する。また自律的活動ができる職能人として、適切な設計・施工計画を進めることができる基礎的能力を培う。											○				
23ULAR2392	建築法規 I	2	建築物に関する基本法令である建築基準法について、その役割、性格、構成、内容等の基本的事項を、国の法制度との関わりの中で正しく学ぶことを目的とする。また単体的および集団的に建築物に求められている比較的基礎的な機能、性能等を具体的に学ぶ。	建築基準法の役割とその初歩的な規定の内容を理解する。その意義を踏まえて最適な空間を設計することにより、社会的義務と責任を重んじ、自律的活動ができる職能人となることを目指す。												◎			
23ULAR3392	建築法規 II	3	建築物に関する基本法令である建築基準法とその関係法令について、国の法制度との関わりの中でより深く理解することを目的とする。単体的および集団的に建築物に求められている比較的高度な機能、性能等を具体的に学ぶ。	建築基準法および関係法令の基礎的内容を理解する。その意義を踏まえて最適な空間を設計することにより、社会的義務と責任を重んじ、自律的活動ができる職能人となることを目指す。													◎		
23ULAR1302	測量学	1	測量技術の基礎となる地上測量について学ぶとともに、これらの測量で得られたデータ、および地理空間情報の特性等を理解することを目的とする。	建築・景観設計を学ぶ上で重要な測量に関する基礎知識を身につけ、建築・景観設計にかかわる様々な問題解決に活用することを目指す。	◎														
23ULAR3301	都市計画	3	都市の快適さや美しさ、個性とは何か、それを創造するための計画手法、および都市計画が対応すべき要件について、先進事例を踏まえて理解することを目的とする。これらと並行して、近代都市計画の歴史や理論、制度、歴史的都市の保存や再生、現代都市計画の制度や運用など、都市計画の基礎知識を学ぶ。	これらの都市のあるべき姿、それを実現していくための手法などを発想し、建築・景観設計において、具体的な提案ができるようになることを目指す。					◎			◎		○				○	
23ULAR4411	環境職業倫理	4	地球や国土、地域レベルの様々な環境問題を取り上げて、その問題の発生要因やメカニズムを探り、採り得る選択肢や将来のシナリオを検討することを目的とする。	景観建築の立場からどのような解決方法を社会に提示することができるかを考える能力、および環境に関わる専門家としての心得や行動規範を習得する。													◎		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号													
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目													
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅 な 徳 性	D. 高い知性、 善美な情操、高 雅な徳性の総合						
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2					
23ULAR3461	土 質 力 学	3	地盤の成因、土の構造、土の基本的性質について理解するとともに、その力学的挙動について学ぶため、土の分類と評価方法、締固めた土の特性、土中における水の移動現象、土の圧密変形と粘土地盤の沈下解析、土の強度と破壊に関する物理現象を学習することを目的とする。	景観建築の安全性を確保するために重要な、土質力学の基礎を理解する。理解した基礎的知識を建築・景観設計に活用する能力を培う。		◎												
23ULAR3462	水 理 学	3	静水力学、流体運動の基礎理論、水の波の基礎理論、粘性と乱れ、次元解析、ならびに管路および開水路における定常流を取り扱い、さらに水理学の中でも特に河川工学等の実務に必要な開水路に対する知識や解析手法を理解することを目的とする。	景観建築の安全性を確保するために重要な、水理学の基礎を理解する。理解した基礎的知識を景観設計に活用する能力を培う。		◎												
23ULAR2432	自然環境保全学	2	里地里山、二次草原、湿地、河川、海辺環境の保全、生態系管理、都市景観、文化、音風景の視点から、人が自然環境、自然資源とどのように関わってきたかを振り返るとともに、自然環境を保全する方法について学ぶことを目的とする。	人と自然のかかわりの中で、自然環境を保全していく方法を理解するとともに、理解した基礎的知識を建築・景観設計に活用する基礎的能力を培う。				○		◎	◎							
23ULAR3442	文化遺産保全学	3	世界あるいは日本各地の文化景観を取り上げ、その景観の成立した背景やその価値、景観保全のための国内外の法制度と動向、まちづくりや地域づくりにおけるすぐれた景観の活用事例について学ぶことを目的とする。	地域の文化景観の固有性を読み解く方法を理解するとともに、理解した基礎的知識を建築・景観設計に活用する基礎的能力を培う。				○		◎	○							
23ULAR3444	流域保全学	3	日本において、流域の未来像がどのように決められ、どのような問題点が存在するのか、その現状を理解するとともに、それに対する改善策を案出できるようになることを目的とする。	自然とともにある人の暮らし方を探る上で重要な、流域の未来像の検討方法を理解するとともに、理解した基礎的知識を建築・景観設計に活用する基礎的能力を培う。		○	○			◎	○							
23ULAR1441	日本庭園史	1	日本庭園に関する基本的な用語からはじまり、各時代の様式、空間構成、意匠、植物や石材などの材料などを学ぶとともに、その歴史的、美的、文化的価値について理解を深める。さらに、今日における具体的な計画や設計に応用可能な知識を習得することを目的とする。	日本庭園の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解する。これにより、地域の文化を考察し、新たな文化を創生する能力を育むことを目標とする。							◎							
23ULAR2441	世界庭園史	2	古代から近・現代までの西洋庭園を中心としながらも、イスラムの庭園、中国庭園に代表される東洋の庭園等、広く世界の庭園について、歴史的、美的、文化的価値など多様な側面から考察することを目的とする。	西洋を中心とした世界の建築の歴史、文化に関する基礎的知識を習得し、その美的、歴史的、文化的価値を理解する。これにより、国際社会や地球環境などの多様な観点から、地域の文化を考察し、新たな文化を創生する能力を育むことを目標とする。							◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号														
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目														
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合							
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2						
23ULAR2421	景観建築原論	2	景観建築の基本的事項や、景観に関する法制度等の理解にはじまり、景観の分析や評価等に関する事項、景観を構想・計画する手法、さらに景観を設計する手法等について習得する。また景観建築家の作品研究を通じて、具体的な景観創造の手法について学ぶことを目的とする。	都市および地域の景観およびその構造について理解する。これにより、快適で美しい景観や建築を創造するための基礎的能力を培う。				◎		◎									
23ULAR3421	景観緑地計画論	3	緑地の持つ基本的な機能、法制度、緑地の保全・保護・管理等の理論と手法についての基本事項などを学ぶ。また、緑地の構想・計画のプロセスと手法を学ぶとともに、その理論と実際について、国内外の実例を通して学習することを目的とする。	緑地に関する基礎的知識、および緑地計画にかかわる理論と実際について理解する。理解した基礎的知識を景観設計に活用する能力を培う。				◎			○	○							
23ULAR3464	景観設計施工技術	3	景観設計と施工の関係性、施工工程等について学ぶ。また代表的な工種の特性と内容の構成、造園材料、建設材料等の素材についての学習に取り組む。加えて施工管理の概要と手法および関連法規を学ぶことを目的とする。	景観設計とその施工に携わる上で重要な、施工技術の基礎を理解する。理解した基礎的知識を景観設計に活用する能力を培う。					○		◎							○	
23ULAR1451	景観建築植物学	1	景観的に優れ、かつ持続可能な植栽を計画するためには、環境条件に応じた種を適切に選択することが重要である。植栽に用いられる景観植物に関する基礎を学び、景観植物への理解を深めることを目的とする。	景観植物に関する基礎を理解する。理解した基礎的知識を建築・景観設計に活用する基礎的知識を培う。	◎			◎			○								
23ULAR1551	景観建築植物実習Ⅰ	1	建築・都市緑化に用いられる景観植物を継続的に観察することにより、その分類や名称への理解を深めるとともに、景観植物を正確に同定し、建築・景観設計に活用する能力を養うことを目的とする。特にこの科目では春から夏にかけて開花する草本植物の同定と特性の理解に重点を置く。	景観植物の経時的、季節的変化を実践的に学ぶとともに、建築・都市緑化に必要な基本的技術を身につけ、建築・景観設計へ応用するための基礎的能力を培う。	○				○	○	○	○	○	◎		○			
23ULAR1552	景観建築植物実習Ⅱ	1	「景観建築植物実習Ⅰ」に引き続き、建築・都市緑化に用いられる景観植物を継続的に観察することにより、その分類や名称への理解を深めるとともに、景観植物を正確に同定し、建築・景観設計に活用する能力を養うことを目的とする。特にこの科目では秋から翌春にかけて開花する草本植物の同定と特性の理解に重点を置く。	景観植物の経時的、季節的変化を実践的に学ぶとともに、建築・都市緑化に必要な基本的技術を身につけ、建築・景観設計へ応用するための基礎的能力を培う。	○				○	○	○	○	○	◎		○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
23ULAR1501	景観建築フィールドワークⅠA	1	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、1年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	1年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
23ULAR1502	景観建築フィールドワークⅠB	1	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、1年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	1年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
23ULAR2501	景観建築フィールドワークⅡA	2	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、2年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	2年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
23ULAR2502	景観建築フィールドワークⅡB	2	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、2年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	2年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
23ULAR3501	景観建築フィールドワークⅢA	3	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、3年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	3年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		
23ULAR3502	景観建築フィールドワークⅢB	3	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、3年後期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	3年後期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
23ULAR4501	景観建築フィールドワークⅣ	4	建築物や庭園、町並み、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、4年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的に学ぶ、また、ノートやスケッチの作成を通して基礎的な観察力、表現力を養成し、自律的な学習能力や造形能力の向上につなげることを目的とする。	4年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、習得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を培い、自律的活動ができる職能人としての素養を身につけることを目指す。	○	○	○	○	○	○	◎		